

# 環境活動レポート

ひとつ上のエコ印刷へ

株式会社 プリプレス・センター

2009年7月

活動期間(2008年6月~2009年5月)

## はじめに

地球環境の保全は人類共通のテーマであり、企業も自らの役割を認識し具体的な行動を起こすことが必要です。株式会社プリプレス・センターは、全ての事業活動において環境に配慮し、積極的に環境の維持・改善・啓発に取組み、社会から信頼される企業を目指します。

## 印刷業としてできること

印刷業とは大量に紙資源を消費する製造業です。私たちに課せられた使命は、地球環境の負荷を最小限に抑えながら、文化を広く伝承するお手伝いを行い、サステナブルな製造体制を構築し社会に貢献することあります。では、環境負荷を低減し、どう製造業としての役割を果たすのでしょうか？

《 プリプレス・センターは約束します 》

- 1．無駄な量は作らない。(必要な時に必要な量をお届けします。また、適正量を提案します)
- 2．エコアクション21を通してPDCA(Plan、Do、Check、Action)サイクルによる、地球環境の負荷を最小限に抑えた製造体制を構築します
- 3．最高品質の環境配慮印刷を提案します。(紙・インキ・印刷方式等)
- 4．製造での負荷を相殺する手段として、負荷の一部ですが森林などの緑化事業やグリーン電力などカーボンオフセットを行います。
- 5．紙の消費を抑えるため、電子媒体(WEBやCD-ROMなど)など代替成果物をお客様にご提案します。
- 6．グリーン購入や環境に配慮した会議運営のグリーンコンベンションの普及や啓発など社会的な活動を企業として支援します。
- 7．顧客だけではなく、仕入先や当社の社員、その家族を含めたステークホルダーに対しても環境への配慮活動を啓発していきます。

私たちは、常に環境配慮という視点にたつて「サステナブル経営」と「低炭素社会」への実現へ向けて、「印刷とWEBのビジネスモデルの確立」を全社一丸となって取り組みます。

株式会社 プリプレス・センター 代表取締役 藤田 靖

平成 16 年 5 月 1 日 制定

平成 18 年 5 月 1 日 改定

株式会社プリプレス・センター

代表取締役 藤田 靖

## 環境方針書

### 環境保全に関する基本方針

地球環境の保全は人類共通のテーマであり、企業も自らの役割を認識し具体的な行動を起こすことが必要です。株式会社プリプレス・センターはすべての事業活動において環境に配慮し、積極的に環境の維持・改善・啓発に取り組み、社会から信頼される企業を目指します。

### 環 境 方 針

- 1．環境に配慮した商品開発を行い、販売に努めます
- 2．環境関連法規制その他を遵守し、汚染の予防に努めます
- 3．省エネルギー・省資源・廃棄物の適正管理に努めます
- 4．社屋の緑地の整備と周辺環境美化に努めます
- 5．事業活動における環境負荷の低減に努めます

## 事業所の概要

### 1. 事業所名及び代表者氏名

株式会社 プリプレス・センター

代表取締役 藤田 靖

### 2. 所在地

〒060-0002 北海道札幌市中央区北2条西14丁目2-3

### 3. 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者 総務部長 川向 公博

連絡先 TEL : 011-272-6670 FAX : 011-272-6680

### 4. 事業の内容

企画・デザイン・制作・印刷(オフセット・オンデマンド)・製本・マルチメディアコンテンツ制作・ECサイト構築

### 5. 事業の規模

活動規模	単位	2008年度
売上高	千円	953,360
従業員数	人	51
床面積	m <sup>2</sup>	939.28

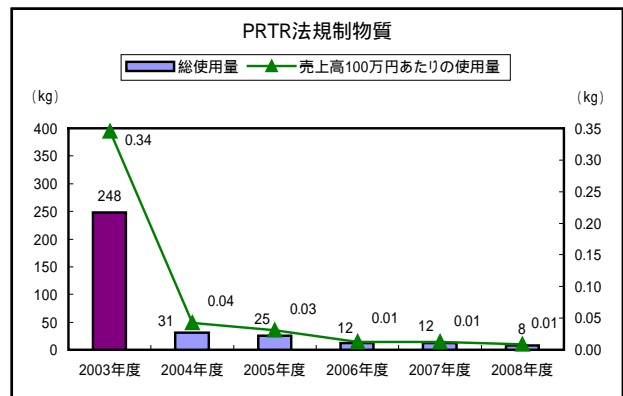
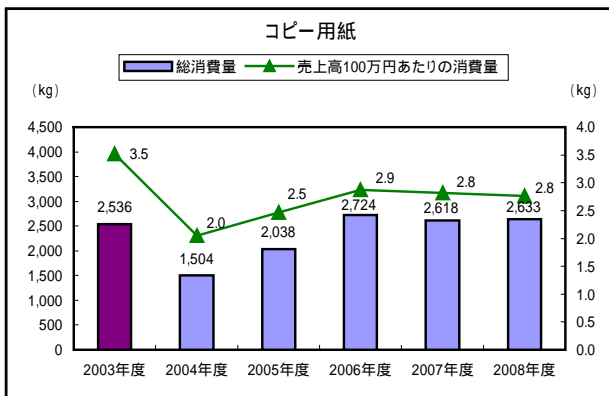
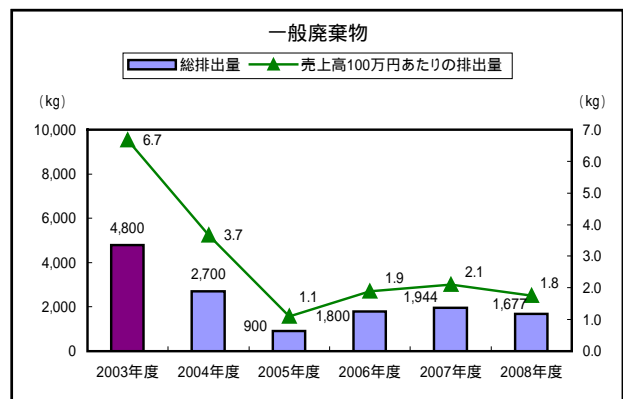
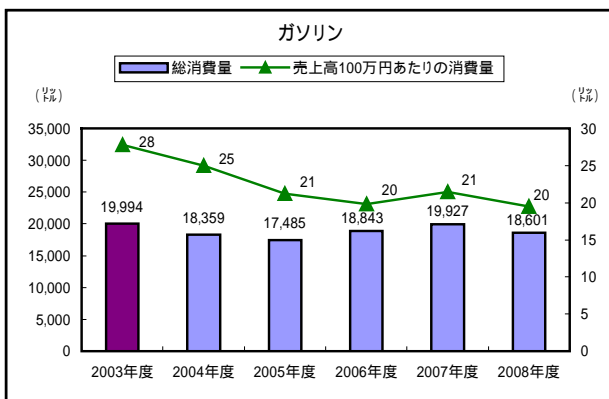
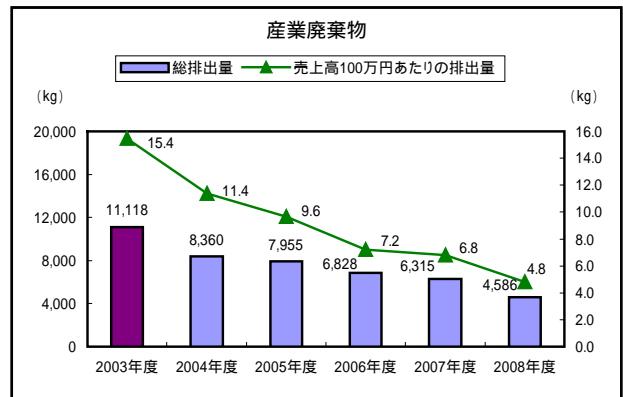
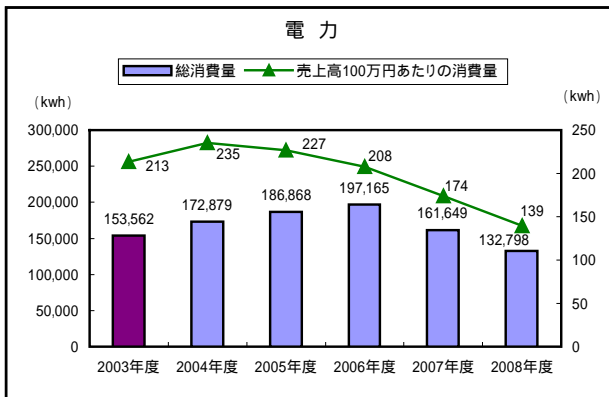
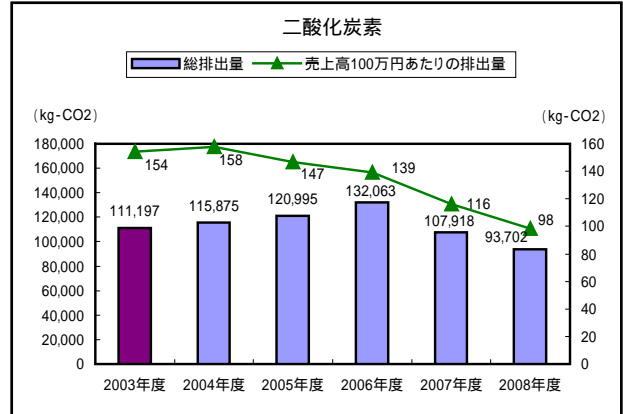
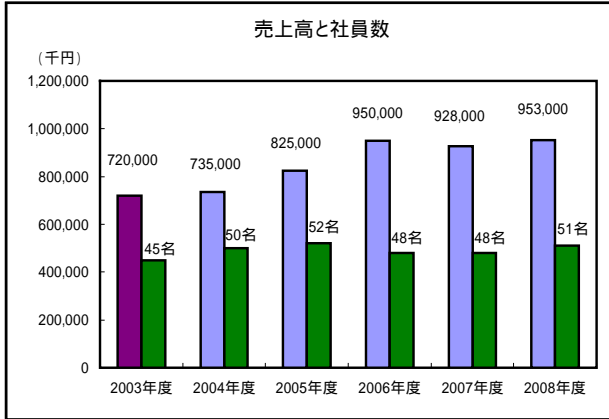
### 6. 対象事業所

(1) 本社 : 北海道札幌市中央区北2条西14丁目2-3

(2) 工場 : 北海道札幌市東区東苗穂2条3丁目4-48

(3) 東京営業所 : 東京都台東区蔵前4丁目3番5号

## 環境への負荷状況の推移（2004年度から環境活動開始）



2007年度に電力消費量が大幅に減ったのは、工場移転（2007年9月）のため。（他社施設内に移転のため、以後の電力消費量を測定することができなくなった。2009年6月より、自社設備にメーターを設置して測定を開始する）  
PRTR法～特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律。

## 主要な環境活動計画の内容と評価

1. コピー用紙の削減・紙のリサイクル（本社） 目標設定せず、日常管理を実施
  - (1) コピー用紙は、両面使用する。
  - (2) 「紙ゴミ（古紙）分別表」の通り分別し、所定の保管場所に置く。分別された紙ごみは、随時リサイクル置き場に保管する。  
保管された紙ごみは、随時業者が回収し、再資源化されます。
  
2. 廃棄物の削減・ごみの分別（本社） 目標設定せず、日常管理を実施

「ごみ分別表」の通り分別し、所定の保管場所に置く。

  - (1) 一般ごみ：札幌市環境事業公社にて回収 焼却
  - (2) 不燃ごみ：札幌市環境事業公社にて回収 埋立
  - (3) 産業廃棄物：公清企業及びリプロワークにて回収
  
3. ガソリン節約（本社） 目標設定せず、日常管理を実施

営業車及び配送車のエコドライブ実施。また、配送車を低燃費な軽自動車に入れ替えた。
  
4. 社屋の緑化・周辺の美化（本社） 目標設定せず、日常管理を実施

玄関等の緑の維持管理。当番による社屋周りのゴミ拾い。
  
5. 節水への取り組み（本社）

環境活動を行う前から、節水型トイレやトイレ擬音装置（音姫）の設置を推進し、節水に取り組んでいる。

**評価**

上記1～5については、2004年より継続的に実施している。大幅な経営資源の投入を行わない限り、これ以上の成果が見込めず、従来の日常管理を継続実施した。節電については、工場移転の要因を除くと増加傾向にあるため、次年度は削減目標を設定し活動する。それ以外の項目については、概ねルール通り実行されており、次年度も日常管理を継続する。
  
6. 本社勤務一人あたりの消費電力の削減（本社）

目標：前年比2%削減 実績：8%削減（目標達成）

照明、PC類などの消し忘れをチェックやエアコン使用の見直しを実施。

**評価**

目標を上回る結果となった。（前年度 3,840kwh 今年度 3,528kwh）

総消費電力も前年度 161,649kwh が 132,789kwh と 28,851kwh の削減となった。ただし、次年度は、本社に製造設備の一部が移設されるため、総消費電力は増加する見込である。

#### 7. 全紙在庫紙の削減（工場）

目標：2008年6月末時点の20%削減 実績：90%削減（目標達成）

全紙在庫紙の数量を把握し、2008年6月末時点の数量をBMに設定。長期在庫紙の使用促進を営業部に依頼。（特値対応）また、在庫紙の銘柄を絞り、適正な発注ルールを策定し実施した。

##### 評価

社用印刷物を作成する際は、在庫紙を使用した。また、特値対応を行った結果、長期在庫紙のほとんどが印刷物として活用された。今後も長期在庫とならないように、ルールに基づいた発注を継続する。

#### 8. 廃棄物の排出量測定（東京営業所）

目標：現状の廃棄物排出量を測定 一般廃棄物 333kg が排出された。

##### 評価

次年度より、削減目標を設定し活動を行う。

## 次年度の主要な環境活動計画の内容

ガソリン節約・節水・節電に関しては、2004年より継続的に取り組んでおり、今後、大幅な経営資源の投入を行わない限り、これ以上の成果が見込めず、これからも現状の日常管理を継続していく。

### 1. 本社

#### (1) 環境配慮製品の販売数量アップ(前年比5%アップ)

目標： エコロジーカレンダー33,740個

カーボンオフセットカレンダー38,970個

グリーンエコ(カーボンオフセット)年賀状10,360枚

#### (2) 環境配慮商品の考案

目標： 翌年度販売のための商品を1アイテム以上考案

### 2. 工場～印刷事故の削減

目標： CTP 損版 月10版以内

オフセット印刷 月3件以内

オンデマンド印刷 月3件以内

### 3. 東京営業所～廃棄物の削減(前年比3%削減)

目標： 一般廃棄物の排出量323kg以下

### 4. その他の環境活動計画

(1) 社外への啓発：展示会への出展を通じて社外への啓発を行う。

(2) 社員の家族への啓発：ツールを作成し、家族への啓発を行う。

(3) 資材仕入業者への協力依頼：当社の環境活動等を説明し、環境配慮への協力を依頼する。

(4) 事業活動等で排出されたCO<sub>2</sub>を「サミットの森」へカーボンオフセットする。

### 5. 中長期的活動計画

(1) CO<sub>2</sub>の排出量を抑制していく。(カーボンオフセット含む)

(2) 製造品に対するCO<sub>2</sub>排出量の明示

## エコアクション21 / 環境への取組の自己チェックリストについて

実施率

2006年度：31.5%    2007年度：35.8%    2008年度：38.2%

環境への取組の自己チェックリスト(実施率)

現在・将来にわたって、当社に関連するであろう項目に対して取組んでいる実施率。

## その他の環境活動など

### 1. 2008年8月22日、さっぽろエコメンバーに登録。(レベル3)

さっぽろエコメンバーとは、札幌市が環境に配慮した取組を自主的に行っている事業所を「さっぽろエコメンバー」として登録し、その取組を広く市民等に紹介することにより、環境に配慮した事業者の取組を広げていくことを目的としています。

(詳細はこちら <http://www.city.sapporo.jp/kankyo/management/ecomember/index.html>)

### 2. サミットの森へのカーボンオフセット実績(サミットの森 HP <http://www.eco2008.jp/index.html>)

(1) 事業活動で排出された CO<sub>2</sub> 149.6t をカーボンオフセット

(2) 年賀状印刷の時に排出された CO<sub>2</sub> 84.4t をカーボンオフセット

(3) カレンダー製造時に排出された CO<sub>2</sub> 34.1t をカーボンオフセット

### 3. 2008年11月8日に札幌市白旗山にて実施された、北海道 GPN 主催の「第1回サミットの森づくりカーボンオフセット体験ツアー」に参加し植林を体験。



4 . 2008 年 12 月 29 日、FSC 森林認証制度の「FSC/CoC 認証( 認証番号 CU-COC-811067 )」を取得。

FSC (Forest Stewardship Council、森林管理協議会)は、世界中全ての森林を対象とし、環境保全の点から見て適切で、社会的な利益にかなない、経済的にも継続可能な森林管理を推進することを目的としています。このような森林管理がなされているかどうかを信頼できるシステムで評価し、適切な管理がなされている森林を認証します。また、このような森林から産出された木材・木材製品に独自のロゴマークを付け、認証を受けた森林から来ていることを保証するものです。このロゴマークの付いた製品を幅広く流通させることにより、世界の森林保全へ向け、森林管理者から、木材・木材製品の消費者に至るさまざまな関係者を一体化しようとする取り組みです。

弊社が取得した「FSC/CoC (Chain of Custody) 認証」は、製造・加工・流通における認証制度で、これらのすべての工程で非認証材と混在しないよう適切な管理が行われているかを審査するもので、認証された森林から産出された製品であると実証できる管理体制が認められた企業・団体に対して与えられる認証です。



The mark of responsible forestry  
CU-COC-811067  
© 1996 Forest Stewardship Council A.C.

#### 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

罰則・行政指導に関わる義務違反規定について、違反及び関係機関から指摘はなかった。また、訴訟等も一件もなかった。

## 企業及び代表者の環境活動

### 1988 年

創業と同時に北海道リサイクル運動市民の会の発足から第一回目のフリーマーケット開催に携わる。(1988年から1991年まで事務局長。フリーマーケットのアメリカ現地視察、当時の北海道知事、横道孝弘氏との意見交換、札幌市のアースデー、環境月間行事、リサイクル月間行事などに多数かかわる)

### 1998 年

小部数など必要な量を印刷することができるオンデマンド印刷機「インディゴ社 E-Print1000」を導入。年賀状ベンダー事業を開始。オンデマンド印刷による年賀状印刷はロスが少なく、注文が入ってから製造する方式で北海道で初めての試みとなる。(現在では、年賀状印刷においてオンデマンド印刷は当たり前になっております)また、ペーパーレス化と知識の共有を目的に、グループウェア「ロータスノート」を導入。(社員一人に一台のパソコン)

### 1999 年

札幌市中央区の JR 桑園駅近くに工場を新設。環境に配慮したオンデマンド水なしオフセット印刷機「ハイデルベルグ社 Quick Master DI」を導入。

### 2003 年

社内製造 IT 業務ワークフローの省力化や DB 化を目的にブラウザ上で稼動する「JOB 管」を開発。

### 2004 年

ISO14001 認証取得。

### 2005 年

グリーン購入ネットワーク理事、札幌市環境活動推進会議委員に就任。

挨拶状・年賀状の e コマースサイト「Cardbox」が経済産業局 IT 経営百選奨励賞を受賞。新しいビジネスモデルと省力化されたワークフローなどが高く評価される。

### 2006 年

印刷と WEB の新しいビジネスモデルの提案を目的に携帯 ASP サービス「モバイル店長」、ビジネスブログ「かんたネット」の販売開始。「JOB 管」やグループウェアの導入、環境配慮活動などが評価され、IT 経営百選優秀賞を受賞。

### 2007 年

環境マネジメントシステムを ISO14001 からエコアクション 21 に変更。(認証・登録番号 0001952 本社及び工場)

### 2008 年

グリーン購入ネットワークの地域組織である、「北海道グリーン購入ネットワーク」の設立に向け活動を行う。エコアクション 21 の認証・登録範囲に「東京営業所」を追加。

FSC (Forest Stewardship Council、森林管理協議会) の COC 認証を取得。(認証コード CU-COC-811067)

### 2009 年

イギリスで設立されたカーボンマネジメント・カーボンオフセット企業 co2baiance と排出権取引契約。